（４）健やかな体の育成について

１　中期学校経営方針

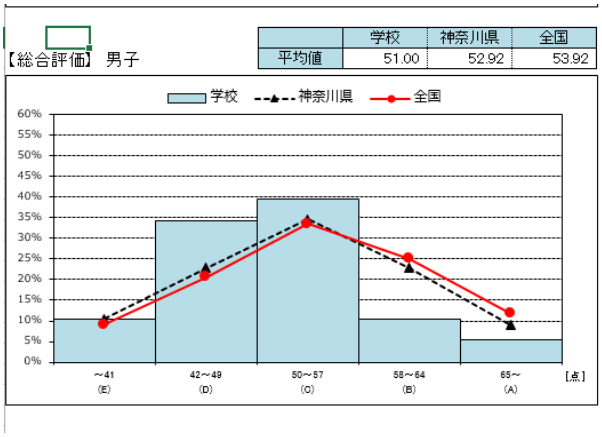
（１）学校経営中期取組目標

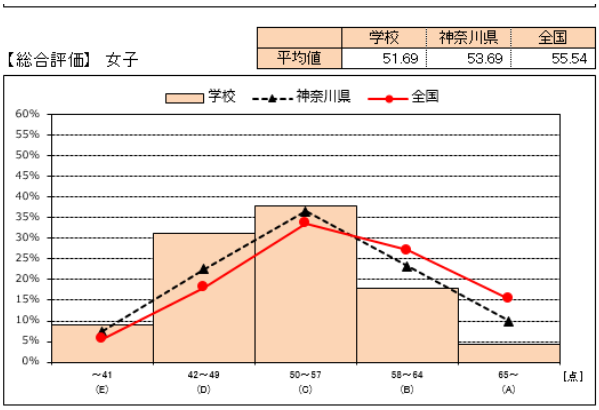
学校経営中期取組目標
○子どもたちが安心して豊かに学び育つ学校づくりを目指します。 ・子どもが学ぶ楽しさを実感できる授業づくりを進めます。 ・子どもが自己有用感を持ち、一人ひとりを大切にする温かな集団づくりを目進めます。 ・豊かな自然環境を生かした教育活動の充実に努め、地域に根ざした特色ある学校づくりを進めます。 ・教職員が互いに学び合い高め合える活気にあふれた学校組織運営に努めます。

（２）体育・健康に関する指導の重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	取組目標	具体的取組
健やかな体 （担当：体育部）	自分の体力の高まりを感じながら、進んで運動に取り組む子どもの育成を目指す。	①　スポ活の推進を図る。 ②　新体力テストの結果をもとにした、体力向上１校１実践運動の改善を図る。（今年度未実施）

２　体育健康に関する実態把握





＜全国体力調査と比較して＞

○体力テストの記録を見ると、全体的に C に集まっていることがわかる。傾向から、全国や神奈川県の記録に比べ、突出して運動能力が高い児童の割合が少なく、全体の平均でも下回っていることがわかる。平均値と比べ割合の高い、どちらかというと運動が苦手な D の児童の体力の底上げを図っていくことが必要である。➡「スポ活」の活動内容を工夫する。

○種目別では、「長座体前屈」の記録が特に低い。柔らかさに関する記録を高める必要がある。

➡体育の学習を中心に、年間を通して指導する。

３　体育・健康に関する具体的取組

≪体育科≫

・様々な運動の楽しさや喜びを感じられるようにし、運動の日常化につなげられるよう体育学習の充実を図る。
・目当てを達成するための見通しのもち方について、例を挙げながら分かりやすく説明する。
・学習に取り組む中で、友達と関わり合う機会を多く設定し、自分や友達のよさに気づき、見合い、学び合いをできるようにする。

≪道徳・特活・総合≫

・スポ活では、全校児童の誰もが楽しめる遊びや運動を行い、児童が運動の楽しさや喜びを実感できるようにする。
・学年の発達段階に応じた食教育の充実が図れるよう、特別活動や学校行事等において計画的に指導する。
・よりよい生活習慣が身に付くように保健委員会の活動を充実したものにする。
・児童が規則正しい生活習慣を身につけ運動に親しむことができるよう、委員会の活動内容を明確にする。

≪課外活動≫

・休み時間に外遊びをする児童の割合が高い現状を踏まえ、健康と運動の関係を発達段階に応じて随時指導するとともに、安全な遊び方について意識できるようにする。
・全学年共通して感染症対策として効果的な手洗い、うがいの指導を行う。

令和２年度　獅子ケ谷小学校　体力向上１校１実践運動

スポ活（すぽかつ）

１　目的

運動のコツにつながるような遊びや動きに取り組むことを通して、運動に親しむ心や技能の高まりをねらう。

２　運営の仕方

〇運動委員会が中心となり、火曜日の昼休みの時間に行う。
〇特に、運動が苦手な子に対して声かけをし、運動に親しみやすくする。

＜遊びの例＞

〇ボール投げにつながる遊び・・シャトル投げ、バトンスローなど（段階的に実施）
〇巧みな動きにつながる遊び・・長縄跳び、短縄跳びなど
〇走る動きにつながる遊び・・・学年に応じルールを工夫した鬼遊びなど（段階的に実施）